

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。			
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標
1	28	<p>①今後もアセスメントにADL・IADL等の有する能力(できそうな能力)、各活動の要望、具体的なケア内容、リハビリ内容の記録を増やすと共に、計画の2表との整合性に繋げていき、「家事手伝い」等の表現を詳細にしていく予定である。</p> <p>②事故報告(写真付き)に詳細に原因と対策が書かれており、今後もアセスメントと計画内容に繋がっていく予定である。</p> <p>③今後も日課計画表の内容を増やし、家族、職員と共有していく予定である。</p>	<p>①アセスメントと計画表との整合性の明確化ができる。</p> <p>②事故報告書と介護計画書をリンクさせアセスメントに繋げる事ができる。</p> <p>③日課予定表を活用し、家族・職員と共有ができる。</p>
2	51	<p>コロナ以降、各ユニットで過ごす時間が増えていく。「夢プロジェクト」を含め、「買い物に行きたい」等の夢の実現に繋げていくとともに、敷地内の散歩タイムを増やしたり、バルコニーに野菜等を植え、水やり等を入居者と一緒に行うなど、笑顔を更に引き出していきたいと考えている。</p>	<p>入居者に行きたい場所等をアセスメントで聞き取りを行い、実現可能な場所であれば、年間計画に盛り込み計画・実施していく。気候や天気の良い日には、近場での散歩や日光浴・園芸活動を増やし、刺激ある生活を提供していく。</p>
3			

目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
<p>①入居前に自宅に訪問し環境のアセスメントを行い入居時の環境の変化の戸惑いを少しでも軽減できるよう職員間で共有を図っていく。また、アセスメントに各種活動内容の具体化、記録内容を増やし、分かりやすい表現で記録していく。</p> <p>②事故報告(原因分析、対策等)の詳細をアセスメントと介護計画に盛り込み家族・職員と共有できる仕組みを作る。</p> <p>③日課計画表の用紙を具体化した用紙に変更し、計画内容を増やし、家族、職員と共有していく。</p>	24 ヶ月
	12 ヶ月
	ヶ月